

第41回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成27年4月1日（水）18:30～20:00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 15人

3 会議内容

(1) 参加者自己紹介

自己紹介と転入職員への質問

(2) イベント報告

前回運営会議以降に行われたイベントをスライドで報告

(3) やりたいこと発表会

今回プレゼンされた企画

① まちの100冊（新規提案）

内 容

街の人が紹介する本・1冊

- ・写真+ひとことで一人一冊紹介してもらう
- ・リレー形式で紹介しあう
- ・対象は、商店主などで市長まで含めることができれば
- ・毎日一人ずつ紹介していき所要期間は約三ヶ月

意 見

- ・人生で影響を受けた本などテーマを設定するとよいのではないか
- ・カエボン、ビブリオ、ZINE 等他のイベントと連携したらどうか
- ・パンフレットのような手に取れる形の成果物も合ったほうがよいのではないか

今 後

ことば蔵開館3周年に合わせ、5月から7月にかけてできればいい。実現に向けて調整する。

② 味読快読、英語精読深化論

内 容

日本文学を英語で味読快読

5月 志賀直哉「城の崎にて」 9月 鴨長明「方丈記」 1月 樋口一葉「たけくらべ」

英語精読深化論

7月 京大の過去問英語 11月 「英英辞典」 3月 「ニュースの英文原稿」

今 後

- ・教養講座として2ヶ月に1回ペースで継続的な講座にしたい
- ・本庁都市デザイン課と調整の上「ことば文化都市」のロゴを使用
- ・年間開催日をチラシに載せる
- ・戦後70年に合わせ、8月に英語で書かれた日本国憲法を読むのも良いのではないか

(3) 報告

話題の本で話そう「ツレがうつになりまして」

平成27年5月13日(水) 10:30～

4 Library of the Year について

- ・今後の **Library of the Year** 獲得に向けて、受賞館の分析と今後の方向性
受賞館の中にはクラウドファンディングや国宝を活かした取り組みを行った館がある。同じようなことをすることは難しい。

ことば蔵が図書館として評価されることが重要である。強みを明確にし、キャッチフレーズを決めたらよいのではないか。キーワードの一つとしては、街の人の専門性がある。具体的には「あなたに教えましょう」「誰でも先生、誰でも生徒」(愛知でも使用されている)など。人と人が出会う交流も独自性だと言える。

しかし、実際に **LOY** を獲得しようとするならば、ここにしかないほどの独自性が必要だと考えられる。上記のことは他館でも取り組んでいることから、その方向性では **LOY** 獲得は難しいとも思われる。この点について、**LOY** 獲得を絶対的な目標とするのではなく、交流こそがことば蔵であるとするのも一つの考え方であるが、やはり独自性を活かして獲得を目指したい。

そのためにも、これまでの運営会議の記録をアーカイブしていく必要がある。過去から現在に至るまでの取り組みの中で、一貫した考え方があればそれこそが独自性である。また、館として全体が連携協力してイベント等に取り組んでいくことも重要である。

5 次回の運営会議

(1) 日時: 5月13日(水) 18:30～

(2) 場所: 伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア